SONY

4-659-379-01(1)



# はじめにお読みください

パーソナルエンターテインメントオーガナイザー

PEG-T600C/PEG-T400

- CLIE、VAIO、“Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK™、“Magic Gate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、“Magic Gate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）、MG、PictureGearはソニー株式会社の商標です。
- Palm OS、Graffiti、HotSyncは、Palm, Inc.またはその子会社の登録商標であり、Palm Desktop、HotSyncのロゴ、Palm Poweredのロゴは、Palm, Inc.またはその子会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Xiino（ジーノ）、Ilinx（イリンクス）は株式会社イリンクスの登録商標です。
- generic mediaおよびgMovieは、generic media,incの商標です。
- ATOK「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機で使用している一部のフォントの著作権は、株式会社タイプバンクに帰属します。
- Adobe® およびAcrobat® はAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

サンプル映像&音楽　cocoro.prc
（DVD Hawaiian Breeze - KOHALA Collection（CCBN-27013）より）
Music: Mango Cooler（Composed by Charles Michael Brotman. Performed by KOHALA）

http://www.cocoronet.com/
サンプル音 D__～（音・辞典™シリーズより）の著作権は、株式会社データクラフトに帰属します。

**本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのCLIEに添付の使用許諾契約書をお読みください。**

**ご注意**

- Palm OS上で動作する他社製のアプリケーションおよびハードウェアについては、当社はサポートしておりません。
- 付属のソフトウェアは、この説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- この説明書は、お客さまがWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

# 目次



**取扱説明書について**

「はじめにお読みください」（本書）、「取扱説明書」および「CLIEを使いこなす」は、PEG-T600CおよびPEG-T400の2機種について説明しています。

- 本体のイラストは、特に断りがない限り、PEG-T400を使用しています。
- PEG-T600CとPEG-T400とで異なる点については、各説明箇所で明記しています。

# CLIEでできること

**CLIEは個人情報を気軽に管理するだけでなく、画像の再生なども楽しめる、パーソナルエンターテインメントオーガナイザーです。使いこなすことにより、どんどん用途が広がります。**

## パソコンと一緒

例えば、パソコ
CLIEで持ち出せ

●お気に入りの画像を持ち歩く

## 電子手帳としてCLIEを使う

●住所や予定表など管理できる

●パソコンの予定表や住所録を持ち出す

# インターネットに接続して CLIEの世界を広げる

●外出先で電子メールやさまざまなホームページを楽しむ

に使ってCLIEを使いこなす

ンで管理している画像を
ます。

●地図を持ち出す

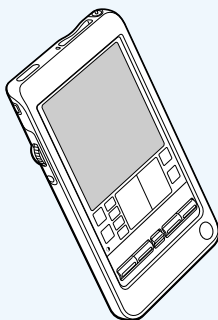
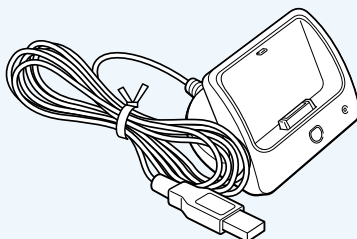
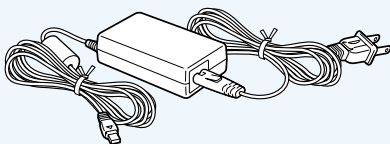
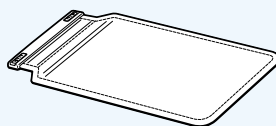
●CLIEのホームページを利用する

インターネット接続をするには

- 別売りのモバイルコミュニケーションアダプターと接続ケーブル、携帯電話／PHSなどの通信機器が必要です。
- 本冊子では、パソコンと一緒に使って、CLIEを使いこなすまでの準備と手順を説明しています。インターネットを接続するには、本冊子の準備をした後、「CLIEを使いこなす」に記載されている準備が必要です。

# 1 箱の中身を確認する

## まずはじめに、付属品を確認しましょう。

● 本体（1台）

● クレードル（1台）

● ACアダプター（1台）

● ソフトカバー（1個）*

● スタイラス（1本）*

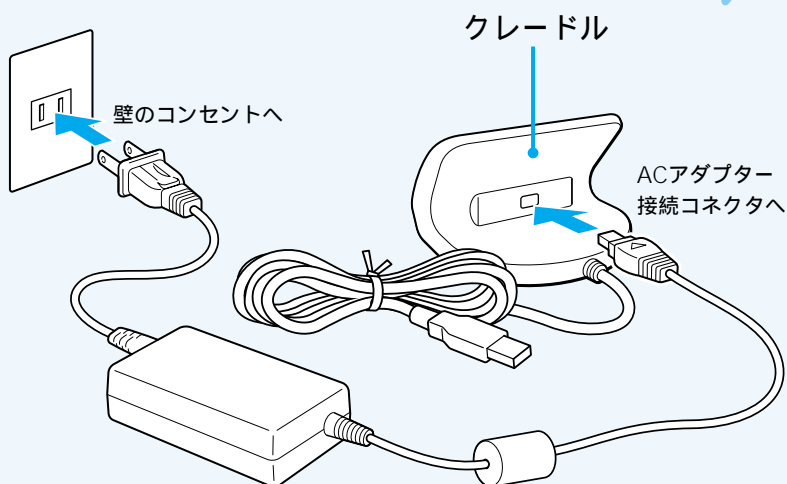
*工場出荷時に本体に取りつけてあります。

## ● 説明書およびCD-ROM

- インストールCD-ROM（1枚）
- はじめにお読みください（1冊、本書）
- 取扱説明書（1冊）
- CLIEを使いこなすー付属アプリケーション取扱説明書（1冊）
- カスタマー登録のご案内（1枚）
- カスタマー登録はがき（保証書）
- Graffiti（グラフィティ）シール（1枚）
- ソフトウエア使用許諾書（1枚）
- クリエサービスサポートのご案内（1枚）
- クリエカルテ（1部）
- その他印刷物一式

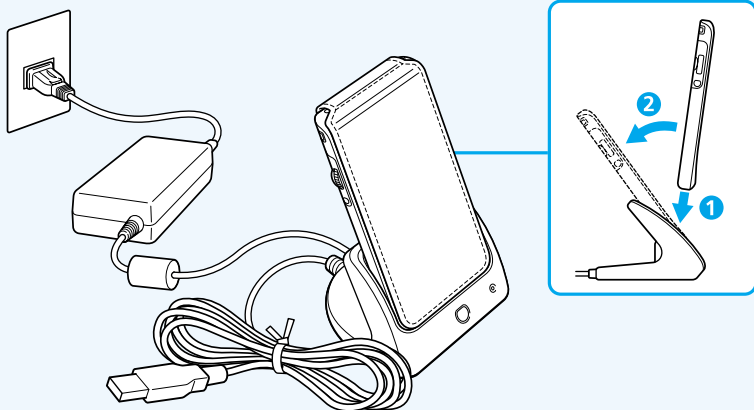
# 2 まず充電する

## CLIEを使う前に、必ず充電してください。

### つなぐ

### 充電について

- 毎日こまめに充電すれば、充電は短時間で終了します。
- 付属のクレードルをAC電源につないでおくと、
  本機をクレードルに置くだけで充電が始まります。

詳しくはCLIE本体取扱説明書をご覧ください。

# 取り付ける

**クレードルと本体のランプが点灯して、充電が始まります。**
**初回の充電は約4時間で終了します。**

- 充電が終了すると**本体のランプは消灯**しますが、
  **クレードルのランプは点灯したままです。**
- **約1時間もすれば、**この冊子に説明している準備を
  するだけの充電は終了します。

**充電をしているうちに、これからの準備の手順を**
**確認しておきましょう。**

# 3 準備の手順を確認する

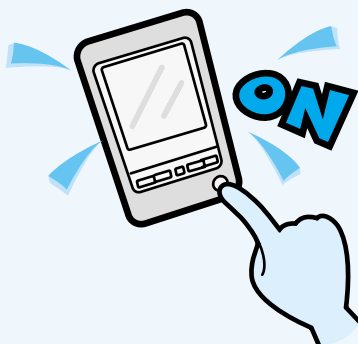
## 充電が終わったら、以下の手順で、準備を行ってください。

### CLIE本体を準備する

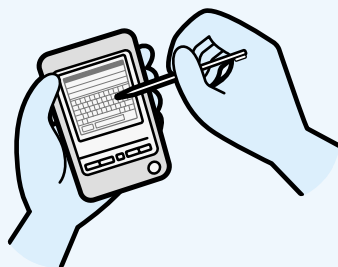
CLIEで住所や予定などの個人情報を管理するには、
この準備が必要です。

**電源を入れる**

12〜17ページ

電源を入れて、CLIE本体を
使うのに必要な設定を行います。

**文字入力をする**

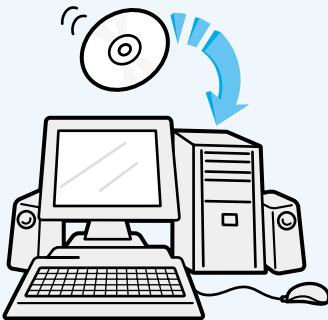
18〜25ページ

画面に表示されるキーボードを
使って、文字入力を
練習しましょう。

# 5 パソコンと一緒に使えるようにする

**CLIEをパソコンと連携して使ったり、
インターネット接続をするためには、この準備も必要です。**

## ソフトを インストールする

26～29ページ

お使いのパソコンに
CLIE Palm Desktopソフトウエアを
インストールします。

## パソコンと つなぐ

30～31ページ

クレードルをつなげてCLIEと
パソコンを一緒に使うための
準備をしましょう。

# 4 CLIE本体を準備する

## 電源を入れて初期設定をする

CLIEの電源を入れて、操作をする前に必要な初期設定を行います。
初期設定を行いながら、CLIEの操作に慣れていきましょう。

### 1 電源ボタンを押す。

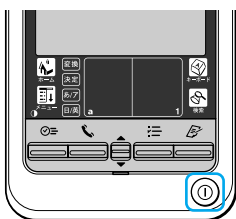
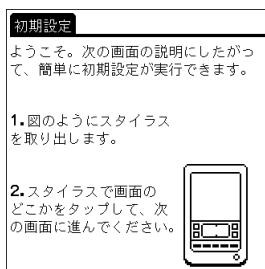
電源が入り、「初期設定」画面が表示されます。

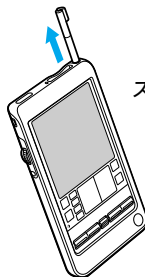
電源ボタンを押す

初期設定

ようこそ。次の画面の説明にしたがって、簡単に初期設定が実行できます。

1. 図のようにスタイラスを取り出します。

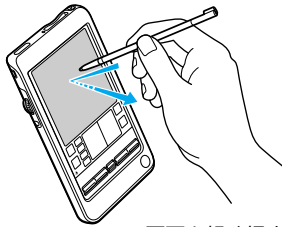
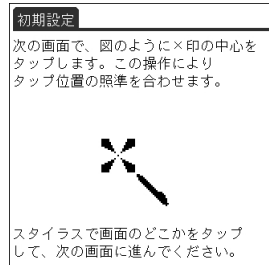
2. スタイラスで画面のどこかをタップして、次の画面に進んでください。

### スタイラスを取り出す。

文字を入力したり実行したいアプリケーションを指定したりするために、付属の**スタイラス**を使います。

スタイラスを取り出す

**ご注意**

付属のスタイラス以外のものを使うと、
CLIEの画面を傷つけてしまうことがあります。

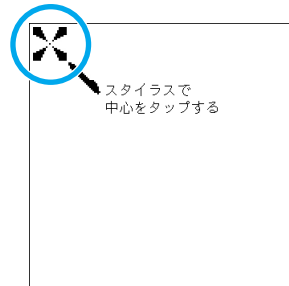
## スタイラスで画面を軽く押す。

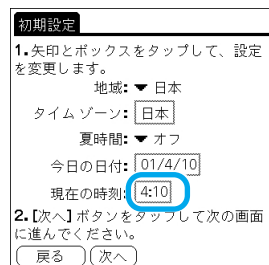
この操作を**タップする**といいます。
タップした場所と画面表示のずれを補正するための、設定画面が表示されます。

## 画面の指示にしたがって、表示されたマークの中心をタップする。

引き続いて、画面の右下と画面の中央の調整も行います。

**ご注意**

正確に調整しないと、うまく操作できない原因となります。あとから調整をやり直したいときは、CLIE本体取扱説明書の「デジタイザの設定を変更する」をご覧ください。

調整が終わると、日時の設定画面が表示されます。

## [現在の時刻]の枠で囲まれている部分をタップする。

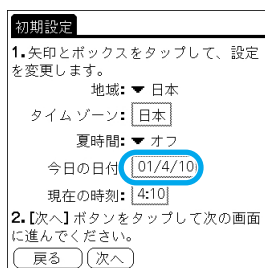
「時刻の設定」画面が表示されます。

**6 ▲または▼をタップして、時間表示を現在の時間に合わせる。**

**7 分表示をタップして、同様に分表示を現在の時間に合わせる。**

**8 ［OK］をタップする。**

時計が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

**9 ［今日の日付］の枠で囲まれている部分をタップする。**

「日付の設定」画面が表示されます。

**10 一番上の西暦の横の◀または▶をタップして、西暦を合わせる。**

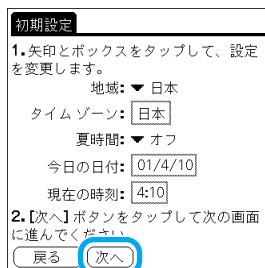
## 11 現在の月をタップしてから、現在の日付をタップする。

日付が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

## 12 [タイム ゾーン] の枠で囲まれている部分をタップする。

「タイム ゾーンの設定」画面が表示されます。

## 13 地域名をタップしてタイム ゾーンを選び、[OK] をタップする。

## 14 [夏時間] の横の ▼ をタップして、[オン] または [オフ] を選ぶ。

## [次へ] をタップする。

## [次へ] をタップする。

「データの入力」画面が表示されます。

初期設定

初期設定が完了しました。

本体でテキストを入力する場合は、[次へ] をタップしてください。

終了する場合は、[終了] をタップしてください。

戻る　次へ　終了

## [終了] をタップする。

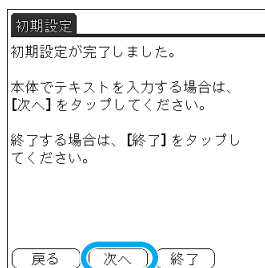
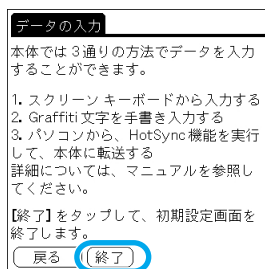
データの入力

本体では 3 通りの方法でデータを入力することができます。

1. スクリーン キーボードから入力する
2. Graffiti 文字を手書き入力する
3. パソコンから、HotSync 機能を実行して、本体に転送する

詳細については、マニュアルを参照してください。

[終了] をタップして、初期設定画面を終了します。

戻る　終了

初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

**これで初期設定が終わり、CLIEを使えるようになりました。**

# 文字入力を練習する

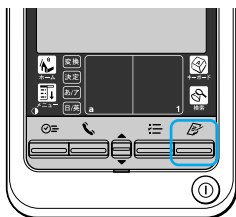
パソコンでキーボードを使って文字を入力するように、CLIEではスタイラスを使って文字を入力します。ここでは「世界にひろがったソニーCLIE」という例文を入力しながら、基本的な文字入力のしかたを練習してみましょう。

なお、CLIEにはここで説明する標準の日本語入力の他にも、効率よく文字を入力するための入力方法が用意されています。詳しくはCLIEの本体取扱説明書をご覧ください。

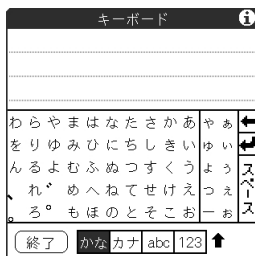
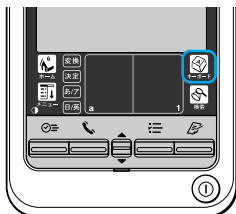
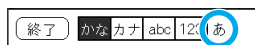
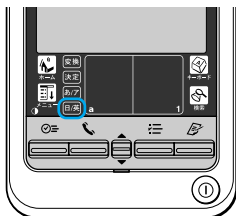
## 文字入力の準備をする

文字を入力するためには、CLIEで動作する何らかのソフトウェア（アプリケーション）を利用する必要があります。ここでは「メモ帳」を使って、文字入力の練習をしてみます。

### 前面パネルの ボタンを押す。

「メモ帳」が起動します。

### [新規] をタップする。

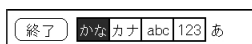
新規メモが作成され、文字が入力できる状態になります。

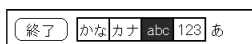
**をタップする。**
キーボードが表示されます。

**日/英 をタップして、日本語入力モードを「入」にする。**

日本語入力モードが「入」になると、
キーボード画面右下に「あ」と表示されます。

## 入力のしかたを選ぶ

日本語を入力する方法として、かな入力方式とローマ字入力方式があります。お好みにあわせて、入力方法を選んでください。以後の説明では、かな入力で入力した場合の操作について説明します。

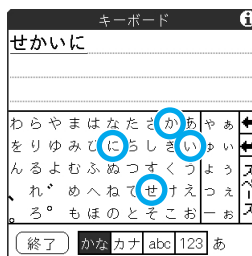
### かな入力

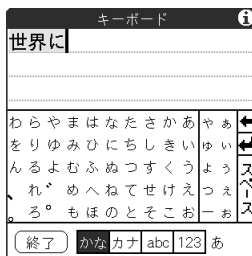
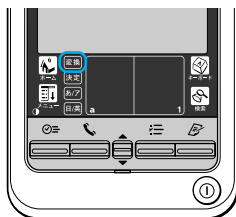
各キーに表示されているひらがなで入力します。［かな］をタップすると、ひらがなのキーボードが表示されます。

### ローマ字入力

アルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力します。［abc］をタップすると、アルファベットのキーボードが表示されます。

## 漢字の部分を入力する（「世界に」）

**1 「世界に」の読みを入力する。**

せ、か、い、に、の順に画面上の文字をタップします。

タップするごとに、カーソル（点滅している「｜」）が入力位置に動きます。

**2  をタップする。**

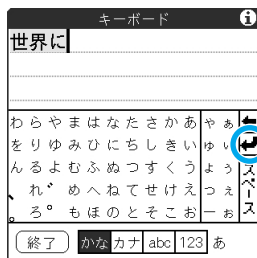
入力した読みに当てはまる漢字が表示されます。

**間違った漢字が表示されたときは**

もう1度 変換 をタップします。
漢字変換候補画面が表示されたら、目的の漢字をタップしてください。

### 決定 またはキーボードの ↵ エンター (Enter) をタップする。

変換が確定します。

**文字を間違って入力したときは**

←(Back Space) をタップすると、直前の文字を消去できます。

## ひらがなの部分を入力する（「ひろがった」）

1

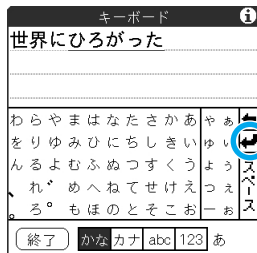
### 「ひろがった」の読みを入力する。

ひ、ろ、か、゛（濁点）、っ（小文字）、た、の順に画面上の文字をタップします。
タップするごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

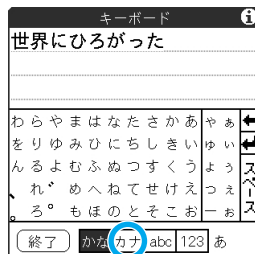
**ちょっと一言**

ローマ字入力で小さい「っ」を入力するときは、「かった」のように次の文字が「た」であれば Tを2回タップします。

### 決定 またはキーボードの ↵ エンター (Enter) をタップする。

変換する必要がないので、 変換 をタップする必要はありません。

## カタカナの部分を入力する（「ソニー」）

### 1 ［カナ］をタップする。

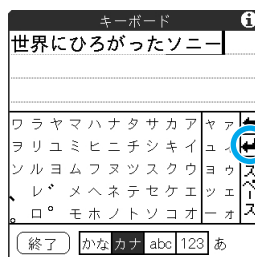
カタカナのキーボードが表示されます。

### ソ、ニ、ー、の順に画面上の文字をタップする。

タップするごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

### ［決定］またはキーボードの ↵（Enter）（エンター）をタップする。

変換が確定します。

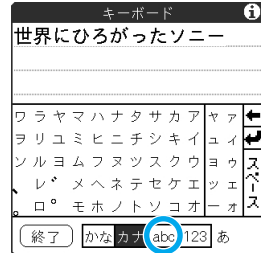
**ちょっと一言**

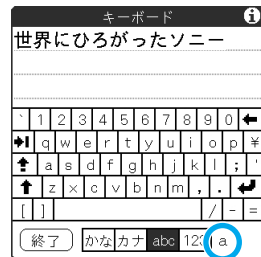
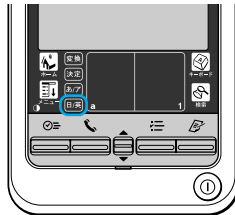
ひらがなで「そにー」と入力してから ［あ/ア］ を タップして、カタカナに変換することもできます。

**ローマ字入力でカタカナを入力するときは**

カタカナにしたい文字列を入力したあとに、［あ/ア］ をタップします。
入力した文字列がカタカナに変換されます。

## 英字の部分を入力する（「CLIE」）

### キーボードの［abc］をタップする。

ローマ字のキーボードが表示されます。

### 日/英 をタップして、日本語入力モードを「切」にする。

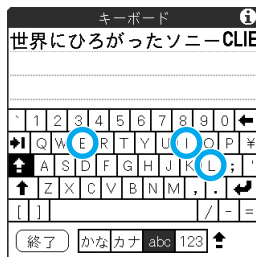
日本語入力モードが「切」のときは、画面右下に「a」と表示されます。

### （Caps）をタップしてから、Cをタップする。

大文字でCと入力されます。

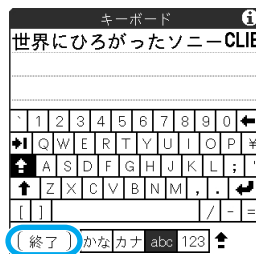
**L、I、Eの順に画面上の文字をタップする。**

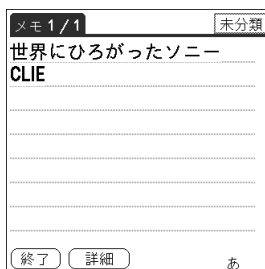
日本語入力モードが「切」になっているため、変換したり確定したりする必要はありません。

**小文字を入力したいときは**

もう一度 をタップします。

## 入力を確定する

**文字の入力がすべて終わったら、[終了] をタップする。**

画面からキーボードが消え、「メモ帳」の画面が表示されます。

「世界にひろがったソニーCLIE」と入力できました。

キーボード上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなど、文字の入力のしかたについて詳しくは、CLIE本体取扱説明書の「文字を入力する」をご覧ください。

**これでCLIEに文字が入力できるようになりました。CLIEをパソコンと組み合わせてお使いになる方は、次ページからの「パソコンと一緒に使えるようにする」をご覧ください。**

# 5 パソコンと一緒に使えるようにする

## ソフトウェアをパソコンにインストールする

お使いのパソコンに、付属CD-ROMに入っている「CLIE Palm Desktop」というソフトウェアをインストールします。CLIEとパソコンでデータをやり取りしたり、住所録などの情報をパソコンの画面で入力するためのソフトウェアです。

### お持ちのパソコンのシステム構成を確認する

CLIE Palm Desktopソフトウェアおよび、付属のCD-ROMに収録されているソフトウェアを使うには、以下のシステムのパソコンが必要です。

- **OS：**Microsoft® Windows® 98、Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition、Windows 2000 ProfessionalまたはWindows XP
- **CPU：**Pentiumプロセッサ 133 MHz以上
- **RAM：**32MB以上（64MB以上推奨）
- **ハードディスクドライブ：**128MB以上の空き容量
- **ディスプレイ：**High Color以上、800×600ピクセル以上を推奨
- CD-ROMドライブ
- USB端子
- マウスやトラックパッドなどのポインティングデバイス

**ご注意**

Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、インストールは
管理者アカウント（Administrator）でログオンしてから行ってください。

## CLIE Palm Desktopソフトウェアをインストールする

**ご注意**

- インストールする前に付属のクレードルをパソコンにつながないでください。正しくインストールできない場合があります。
- パソコン上で付属CD-ROMの内容を開いて、CLIE Palm Desktopフォルダをパソコンにコピーしないでください。必ず以下の手順に従って、インストールしてください。
- すでにCLIE PEG-S300/S500C/N600C/N700Cをお使いの場合、すでにお使いのCLIE Palm Desktopを削除（アンインストール）せずに以下の手順で新しいPalm Desktopを上書きしてください。詳しくは、別冊の本体取扱説明書の「他のCLIEのデータを移す」をご覧ください。
- 本機に付属のCLIE Palm Desktopには、「支払メモ」がありません。

### 1 Windows上で起動している、すべてのソフトウェアを終了する。

### 2 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMをセットする。

しばらくすると、パソコンにインストール画面が表示されます。

### 3 [CLIE Palm Desktopのインストール] をクリックする。

CLIE Palm Desktopソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示にしたがって操作してください。
インストールが完了すると、「セットアップの完了」画面が表示されます。

## オンラインカスタマー登録をするときは、そのまま［完了］をクリックする。

「クリエオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

オンラインカスタマー登録には、インターネットへの接続環境が必要です。

### あとでカスタマー登録するときは

［カスタマー登録をする］の☑をクリックして□にしてから、［完了］をクリックします。手順6に進んでください。

## 画面の指示に従って、カスタマー登録を行う。

カスタマー登録が終わったら、クリエオンラインカスタマー登録画面を閉じて、インストール画面に戻ります。

## ［終了］をクリックする。

### カスタマー登録って何？

ソニーへCLIEの正規ユーザーとして登録することです。
登録をすると、登録カスタマー専用の各種サービスなどが受けられます。
サービスの内容について詳しくは、CLIEのホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）をご覧ください。
また、CLIEに付属の保証書期間はお買い上げ日から3か月ですが、カスタマー登録をすると保証期間が1年間となります。保証について詳しくは、CLIE本体取扱説明書の「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

### カスタマー登録は以下の方法でもできます

- 付属のカスタマー登録はがきを使う
- 「CLIEを使いこなす ― 付属アプリケーション取扱説明書」のChapter1「インターネットに接続する」の操作手順でインターネットに接続したあとに、あらためてCLIEでオンラインカスタマー登録を行う。

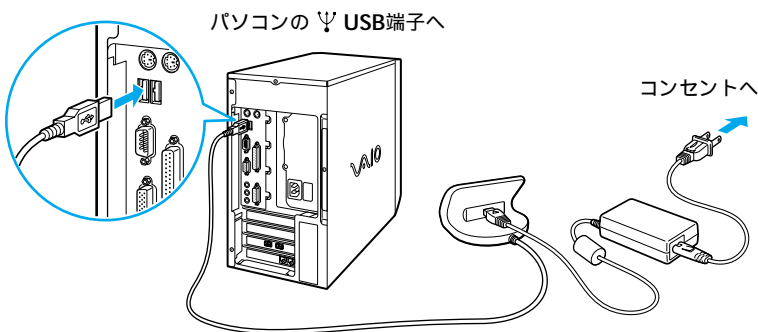
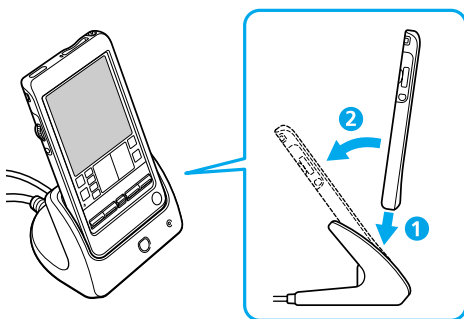
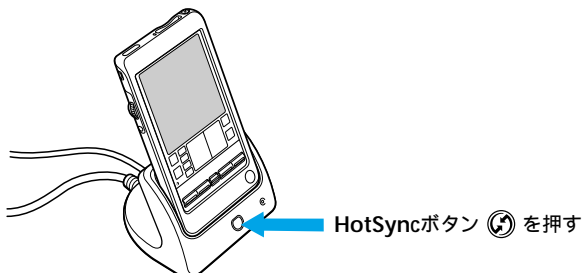
### 手順3でインストールの操作ができなくなったら

パソコンの［Alt］キーを押しながら［tab］キーを、何度か押してみてください。
手順3でインストールの操作中にパソコンの画面上の「インストールCD-ROM」画面などをクリックすると、「インストール」画面が「インストールCD-ROM」画面の背後に隠れてしまい、インストールの操作ができなくなることがあります。このときは上記の操作をすることで、「インストール」画面を再び前面に出すことができます。

## これでパソコンへのCLIE Palm Desktopのインストールが終わりました。

## クレードルでパソコンとCLIEをつなげる

CLIE Palm Desktopソフトウェアのインストールが終了したら、パソコンのUSB端子にクレードルを接続し、CLIEをパソコンと連携して使えるようにします。

### 1 クレードルをパソコンに接続する。

### 2 CLIEをクレードルに取り付ける。

## クレードルのHotSync（ホットシンク）ボタン を押す。

必要なソフトウェアのインストールが自動的にはじまります。

## パソコンに「ユーザー」画面が表示されたら、パソコンの画面でユーザー名を入力する。

ユーザー名とは、CLIEの使用者名のことです。好みの名前を入力してください。

### すでに別のCLIEをお使いの場合は

別のCLIEで使用しているユーザー名とは違うものを入力してください。同じユーザー名にすると、不具合が起こることがあります。

## パソコンの画面で［OK］をクリックする。

CLIEから「ピロリ♪」と音がして、CLIEとパソコンがデータをやり取り（HotSync）します。

このとき、手順4で入力した使用者名がCLIEにも登録されます。

CLIEの画面に「HotSync機能が終了しました」と表示されると、接続完了です。

## これで準備は終了です！

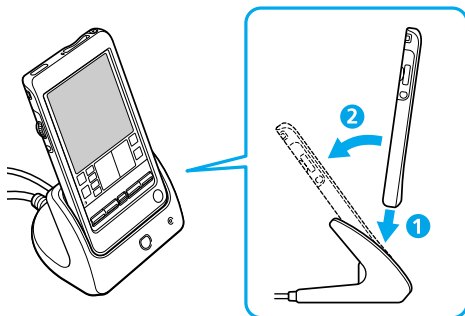
# やってみよう

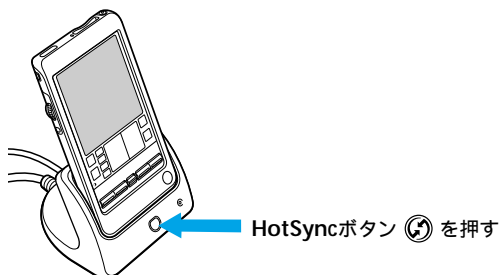
## 準備が終わったら、使ってみる

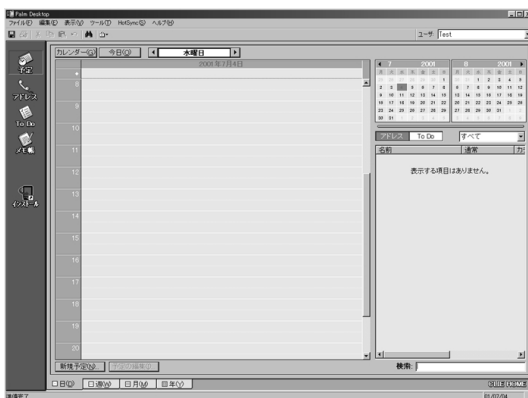
パソコンとCLIEを連携させて、文字入力の練習で入力したメモをパソコンで読んでみましょう。

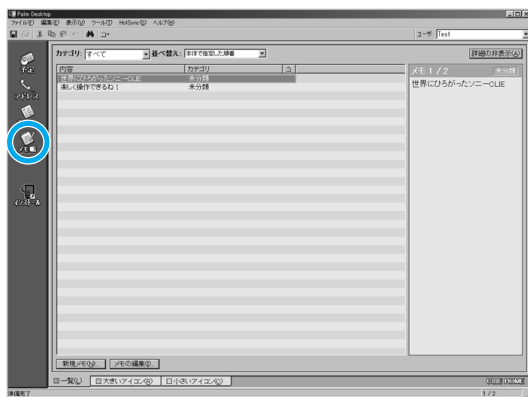
**パソコンの電源を入れて、Windowsを起動する。**

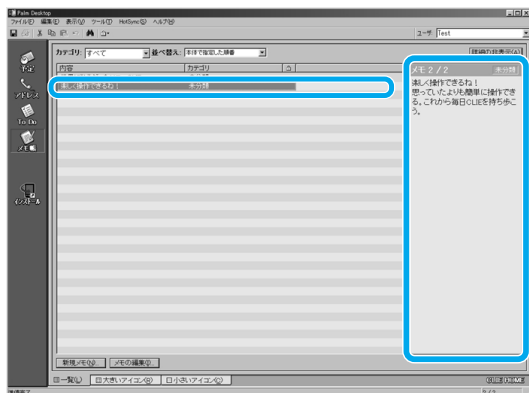
**18～25ページの手順を参考にして、好きな文章を「メモ帳」に入力する。**

**CLIEをクレードルに取り付ける。**

**クレードルのHotSyncボタンを押す。**

CLIEとパソコンでデータをやり取りします。

**パソコンのデスクトップ画面で、［CLIE Palm Desktop］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］をクリックしてから［プログラム］（Windows XPの場合は［すべてのプログラム］）－［SonyCLIE］－［CLIE Palm Desktop］をクリックする。**

CLIE Palm Desktopソフトウェアが起動します。

 **をクリックする。**

メモの一覧が表示されます。

**一覧画面で、手順2で作成したメモをクリックする。**

メモ内容画面に、メモの内容が表示されます。

## これで一連の操作が終わりました。

## これからCLIEを使いこなしていくために

CLIEを自分にあった方法で使いこなすために、以下の説明をご覧ください。

個人情報を管理したい

**本体取扱説明書**
Chapter 3
「個人情報を管理する」

パソコンとの連携を極めたい

**本体取扱説明書**
Chapter 4
「パソコンとデータを同期する（HotSync）」

仲間と情報交換したい

**本体取扱説明書**
Chapter 5
「仲間と情報を交換する」

インターネットに接続したい

**CLIEを使いこなす**
Chapter 1
「インターネットに接続する」

ホームページを見たい

**CLIEを使いこなす**
Chapter 2
「ホームページを見る」

静止画を楽しみたい

**CLIEを使いこなす**
Chapter 4
「静止画を持ち出す」

地図を持ち出したい

**CLIEを使いこなす**
Chapter 7
「地図を持ち出す」

テレビの番組表を見たい

**CLIEを使いこなす**
Chapter 8
「テレビの番組表を見る」

世界時計を見たい

**CLIEを使いこなす**
Chapter 9
「世界時計を表示する」

リモコンとして使いたい

**CLIEを使いこなす**
Chapter 10
「CLIEをリモコンとして使う」

# 用語解説

## 五十音順

**アイコン**

画面上に表示されている、イラストで描かれているボタンのことです。

**アドオンアプリケーション**

CLIEにあとから追加して機能を拡張するためのソフトウェア（アプリケーション）のことを、アドオン（機能拡張）アプリケーションと呼びます。

**アプリケーション**

「予定表」や「ToDo（やることリスト）」、「CLIE Mail（メールを送る）」など、CLIEで動作して使用者の目的を果たすソフトウェアのことです。CLIEで何か操作をするためには、そのためのアプリケーションを起動する必要があります。

**インストール**

アプリケーションをCLIEで使えるように導入することです。CLIE本体にはじめから収録されていないアプリケーションは、あとからインストールの作業を行う必要があります。

**カーソル**

画面上の入力欄で点滅している、文字を入力する場所を示す印（縦長の棒）のことです。

**カテゴリー**

情報を区分けして、まとめる単位のことです。例えば名前と住所、電話番号などのアドレス情報を、「仕事の知り合い」や「個人的な友人」などといった分類（カテゴリー）で区分けするときに利用します。CLIEで利用できる多くのアプリケーションには、カテゴリーで情報を区分けする機能が備わっています。

**スクロール**

一画面に収まりきらない情報を見るには、画面に表示されている情報を上下に動かして見る必要があります。この上下に動かす操作を「スクロール」と呼びます。CLIEではジョグダイヤルを回す、スクロールボタンを押す、または画面上のスクロールバーをドラッグするという三通りの方法でスクロールできます。

**タップ**

スタイラスで画面上のボタンなどを軽く押す操作のことです。

**同期**

用語解説の「HotSync」の項目（次ページ）をご覧ください。

**ドラッグ**

スタイラスで画面上をなぞって書くように操作することです。画面に表示されている文章を選んだり、スクロールバーをずらすときなどに使います。

# アルファベット順

## Graffiti（Graffiti文字）

（グラフィティ）

CLIEで手書き入力をするために使う、特別な文字のことです。すばやく確実に認識させるため、一筆書きで入力できるようになっています。Graffiti文字について詳しくは、CLIEの本体取扱説明書をご覧ください。

## HotSync

（ホットシンク）

CLIEとパソコンのデータをやり取りし、双方のデータを最新の状態にしたり、データのバックアップを取る、アプリケーションのインストールをするといった動作を行うことです。CLIEなどのPalm OS搭載機器の特徴的な機能で、HotSyncボタンを押すだけで、これらの操作を行えます。CLIEとパソコンで別々に情報を追加しても、HotSyncするとCLIEとパソコンの情報がそれぞれ最新の状態に更新されます。なお、本体取扱説明書では「パソコンとCLIEを同期する」などと表現しています。

### Palm OS（Palm OS互換機）

パーム オーエス

Palm, Inc.が開発した、携帯端末に最適化された基本ソフト（オペレーティング・システム）のことです。CLIEはPalm OSで動作しています。
Palm OSが動作する機器（Palm OS互換機）は他にPalm社のPalmシリーズやHandspring社のVisorシリーズなどがあります。Palm OS互換機は、一部のものを除き共通のアプリケーションを使用できます。

### PDA

ピーディーエー

**P**ersonal **D**igital **A**ssistantsの略で、携帯性を重視した情報端末（コンピュータ）のことです。CLIEもPDAの仲間です。

### PIM

ピム

**P**ersonal **I**nformation **M**anagerの略で、個人情報管理用のアプリケーションのことです。「予定表」「アドレス」「To Do（やることリスト）」など、本体取扱説明書のChapter3で紹介しているアプリケーションがこれにあたり、Palm OS搭載機器の基本機能です。

**CLIE ホームページ**
CLIE を楽しく使っていただくための情報をご案内します。
● http://www.sony.co.jp/CLIE/

**ネットコミュニケーション カスタマーリンク ホームページ**
CLIE の最新サポート情報をご案内します。
● http://www.nccl.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

使い方のご相談、技術的なお問い合わせは
**ネットコミュニケーション カスタマーリンクへ**
● 0466-30-3080

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは
**ソニーカスタマー専用デスクへ**
● 03-5977-7255

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービスサポートのご案内」をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/